

# ■ タイシンスタッド®S

耐震壁用異形スタッド

自社品



異形スタッドは、形状および機械的性質がSD345 (JISG3112)と同等であり、溶接性が頭付きスタッド (JIS B1198)と同等のものです。

## 特長

- 鉄骨への全ての溶接姿勢に対して優れた溶接結果が得られ、鉄骨と鉄筋コンクリートとが一体化し、耐震性の向上が計れます。
- SRC造における、柱および梁の配筋完了後、タイシンスタッドを鉄骨へ直接溶接できるため、鉄筋工事の工程管理が容易となり、コストの低減が計れます。

## ◆形状図

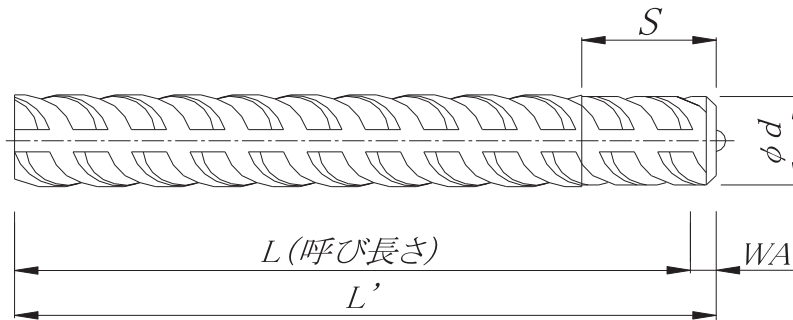


図1 D13・D16

### 【補足】

- ・タイシンスタッドSは異形スタッドSに含まれます。
- ・タイシンスタッドSは標準長さを規定し、鉄筋径をD13とD16、材料強度をSD345に限定した製品となります。

## ◆基準寸法表

単位：mm

呼び名 D	公称直径 φd	公称断面積 As	標準長さ※ L			切削部長さ S	溶け代 WA	適用 フェルール
D13	12.7	126.7	520 (40D)	570 (40D + 50)	670 (40D + 150)	23	4	A-13
D16	15.9	198.6	640 (40D)	690 (40D + 50)	790 (40D + 150)	23	5	A-16
								VA-16

※ 標準長さLに溶け代 (WA) が加算されます。

※ 標準長さ以外につきましては100mm以上より製造可能 (10mm単位)、異形スタッドにて注文願います。

## 製品紹介

地震に対する建築物の安全性を確保するため、昭和56年6月に建築基準法施行令の一部を改正する政令が施行されました。改正に伴うこの新耐震設計法では、耐震性を向上させるために建築物の靱性や剛性などの評価が要点として挙げられています。

タイシンスタッドは、鉄骨・鉄筋コンクリート構造物における、柱・梁の鉄骨にスタッド溶接で異形鉄筋を溶接し、鉄骨と鉄筋コンクリートとを一体化して、柱・梁の靱性や剛性を向上させるとともに、耐震壁の配筋作業を容易にすることが可能となり、構造物の耐震性の向上、ならびに施工の合理化に大きく寄与いたします。

### ◆機械的性質

区 分	品 名	素材種類	降伏点又は 0.2 耐力 N/mm <sup>2</sup>	引張強さ N/mm <sup>2</sup>	伸 び %
SD 345	タイシンスタッドS (異形スタッド)	SD345 E	345 ~ 440	490 以上	20

### ◆化学成分

区 分	品 名	化学成分 (%) ※				
		C	Si	Mn	P	S
SD 345	タイシンスタッドS (異形スタッド)	0.20 以下	0.15 ~ 0.35	0.30 ~ 0.90	0.040 以下	0.040 以下

※ 化学成分についてはJIS B 1198 頭付きスタッドの化学成分に準じ、スタッド溶接性を考量した専用材となります。

### ◆使用例

